

■ 投資銀行ビジネス

SMFGでは、三井住友銀行およびSMBC日興証券を含むグループ会社の力を結集することで、企業の資金調達・運用、M&A、リスクヘッジなど、さまざまなニーズに対して先進的な金融プロダクツや総合的なソリューションを提供し、お客さまのビジネス展開や企業価値向上のお手伝いをしています。

SMBC日興証券との連携

SMBC日興証券はSMFGの中核証券会社として、三井住友銀行と連携し、業務を拡大してきました。

平成25年度リーグテーブルにおいて、「グローバル株式・株式関連 - 日本・ブックランナー」第3位(シェア13.9%、トムソン・ロイターの情報を基にSMBC日興証券が作成)、M&Aファイナンシャル・アドバイザー業務では「日本企業関連 公表案件(取引金額ベース)」第4位(シェア17.1%、トムソン・ロイター)を獲得しました。アナリストランキングでもInstitutional Investor誌、日経ヴェリタス誌で共に総合3位にランクインしています。海外ビジネスにおいても、平成25年10月にサンフランシスコに営業拠点を開設するなど着実に体制を整えており、株式引受業務でSMBC日興証券初のグローバル・オファリングの主幹事を獲得するとともに、大型クロスボーダーM&AではMoelisとの協働を含め、複数の案件でマニデートを獲得しています。法人のお客さまとの取引における銀行から日興への紹介件数も増加しつつあり、平成25年度の紹介実績は約5,200件(前年比+23%)にまで至りました。今後とも、法人のお客さまに対するサービス提供力の強化に向け、SMFGグループ一体となって取り組んでいきます。

日興証券の中期経営計画(平成26年度～平成28年度)

平成26年度を初年度とするSMFGの中期経営計画に基づき、SMBC日興証券は「スピード&スケール」という考え方のもと、成長戦略の推進により国内外の金融・証券市場における存在感の向上を図り、お客さまにより一層価値のあるサービスが提供できるよう取り組んでいきます。

- リテール部門：積極的な資源投入、銀証連携強化による顧客基盤拡大と収益力の維持の両立
- ホールセール部門：競争力あるフロント体制の実現、セールス&トレーディング業務の収益力向上、三井住友銀行の営業基盤およびアライアンスを活用した選別的・効果的な海外業務拡大

Topics

◆ IFR Awards 2013「Yen Bond House of the Year」を受賞

SMBC日興証券は、トムソン・ロイターの発行する主要金融業界誌であるIFR(International Financing Review)誌より、平成25年のサムライ債/ユーロ円市場において最も躍進、活躍した証券会社を称える「Yen Bond House of the Year 2013」を受賞しました。

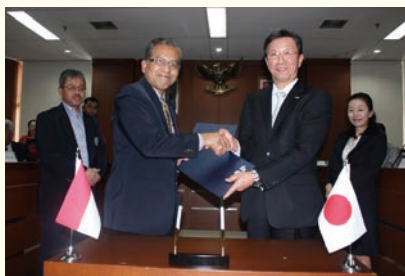


Topics

◆新しいビジネスへの取り組み

近年、高齢化の進展に伴いヘルスケア施設に対する需要が高まっています。三井住友銀行では、重要な社会基盤である介護施設の供給促進を金融面で支援するため、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの介護施設に特化して投資するヘルスケアREITの立ち上げに着手しました。平成25年11月には、ヘルスケアREITの資産運用会社を設立し、上場に向けた準備を進めています。

また、成長産業への取り組みをより一層強化し、日本経済再興に貢献するため、プロジェクトファイナンス営業部の部内室である成長産業クラスター室を独立させ、「成長産業クラスター」を設置しました。「新エネルギー」、「環境」、「水」、「資源」、「ヘルスケア」、「農業」を成長分野ととらえ、新たなビジネスの創出に取り組んでいます。平成26年3月には、インドネシア最大の農業大学であるボゴール農大と農業分野についての覚書を、平成26年4月には、ベルギーの地域政府機関とライフサイエンス、農業、食品関連分野を主とした覚書を締結しました。産官学の連携で集積した幅広い知見、ネットワークを活かし、今後もお客さまの内外における新たなビジネスチャンス拡大をサポートしていきます。



ボゴール農大との覚書締結

■ 国際ビジネス

SMFGでは、三井住友銀行の国際部門を中心に、内外の企業、金融機関、各国政府・公営企業等の、グローバルに事業展開するお客さまに対して地域特性に応じた付加価値の高いサービスの提供に努めています。

三井住友銀行は、アジア・米州・欧州の3地域を軸に、世界各地において、グループ会社や海外現地法人とも連携し、常に最先端の情報とサービスを提供できるグローバルな商業銀行を目指します。

地場金融機関との関係強化

三井住友銀行では、新興国・成長市場における地場銀行や銀行関連団体との関係強化も進めており、平成25年6月、英国パークレイズ・バンク・ピーエルシーの南アフリカ子会社であるアブサ バンク(Absa Bank Limited)との顧客進出サポートに係る業務提携をサブサハラ・アフリカ地域中心に13カ国まで拡大し、平成26年1月には、カンボジア最大手の民間銀行であるアクレダ バンク(ACLEDA Bank Plc.)との業務協働の一環として、同行が設置した日系企業等の窓口部署の運営支援のため、職員を派遣しました。また、平成25年12月には、ミャンマーの地場主要銀行25行で構成されるミャンマー銀行協会と同国の銀行業関係者に対する研修やセミナー等を共同で企画、実施するため、金融人材育成に係る覚書を締結しました。

アジアにおける取り組み強化

三井住友銀行はアジアにおいて、個人から法人まで幅広い商業銀行業務を現地で展開する「マルチフランチャイズ戦略」を推進しており、平成25年5月、インドネシアの年金貯蓄銀行であるバンク・タブンガン・ペンシウナン・ナショナル(PT Bank Tabungan Pensiunan Nasional Tbk)の株式を最大40%取得することを発表し、平成26年3月に40%の取得を完了しました。今後、リテール業務に強みを持つ同行との協働を推進、深化させていくことで、インドネシアを含めたアジアにおける業務の多様化を進めていきます。

また、平成26年3月、マレーシア三井住友銀行がイスラム金融業務を開始しました。同業務は、従前、欧州三井住友銀行で取り扱ってきましたが、アジアのイスラム金融市場において主導的な役割を果たしているマレーシアにおいてもイスラム金融サービスを提供することで、お客さまのニーズにより幅広くお応えしていきます。

海外拠点ネットワークの拡充

三井住友銀行では、日系企業のお客さまへの現地でのサービス向上や、新興国・成長市場へのアプローチを強化するため、海外ネットワークの充実を図っています。世界中にますます広がるネットワークを活かし、お客さまのグローバルなビジネス展開をサポートしていきます。

開設年月	国	開設拠点
H25.4	オーストラリア	パース出張所(母店：シドニー支店)
H25.5	チリ	サンチャゴ出張所(母店：ニューヨーク支店)
H25.5	タイ	チョンブリ出張所(母店：バンコック支店)
H25.10	モンゴル	ウランバートル出張所(母店：ソウル支店)
H26.1	アイルランド	欧州三井住友銀行 ダブリン支店
H26.2	中国	三井住友銀行(中国)有限公司 上海自贸试验区出張所
H26.2	中国	三井住友銀行(中国)有限公司 昆山出張所
H26.3	アラブ首長国連邦	アブダビ出張所(母店：ドバイ支店)
H26.6	チェコ	欧州三井住友銀行 ブラハ支店



航空機関連ビジネスの強化

平成26年4月、三井住友銀行では、グローバルベースでの航空機関連ビジネスの推進・強化のため、海外各地域における航空機関連の営業店機能を一元化し、「航空機ファイナンス営業部」を設置しました。同部設置により、アイルランドを本拠地とする航空機リース事業会社SMBC Aviation Capitalとの連携も促進し、航空機ファイナンス分野におけるSMFGの総合的な金融サービスの更なる向上に努めていきます。

Topics

◆米国貨車リース会社の買収

平成25年12月、三井住友銀行は、米国リース子会社のSMBC Leasing and Finance, Inc.を通じて米国大手の貨車リース会社を買収し、「SMBC Rail Services LLC」として業務を開始しました。米国の鉄道輸送は、トラック輸送等の他の手段に比べ、輸送効率や環境保護の観点で優位にあること等から、その存在感が高まっています。本件買収により、今後安定的に需要拡大が見込まれる同国の貨車リース事業を拡充していきます。

